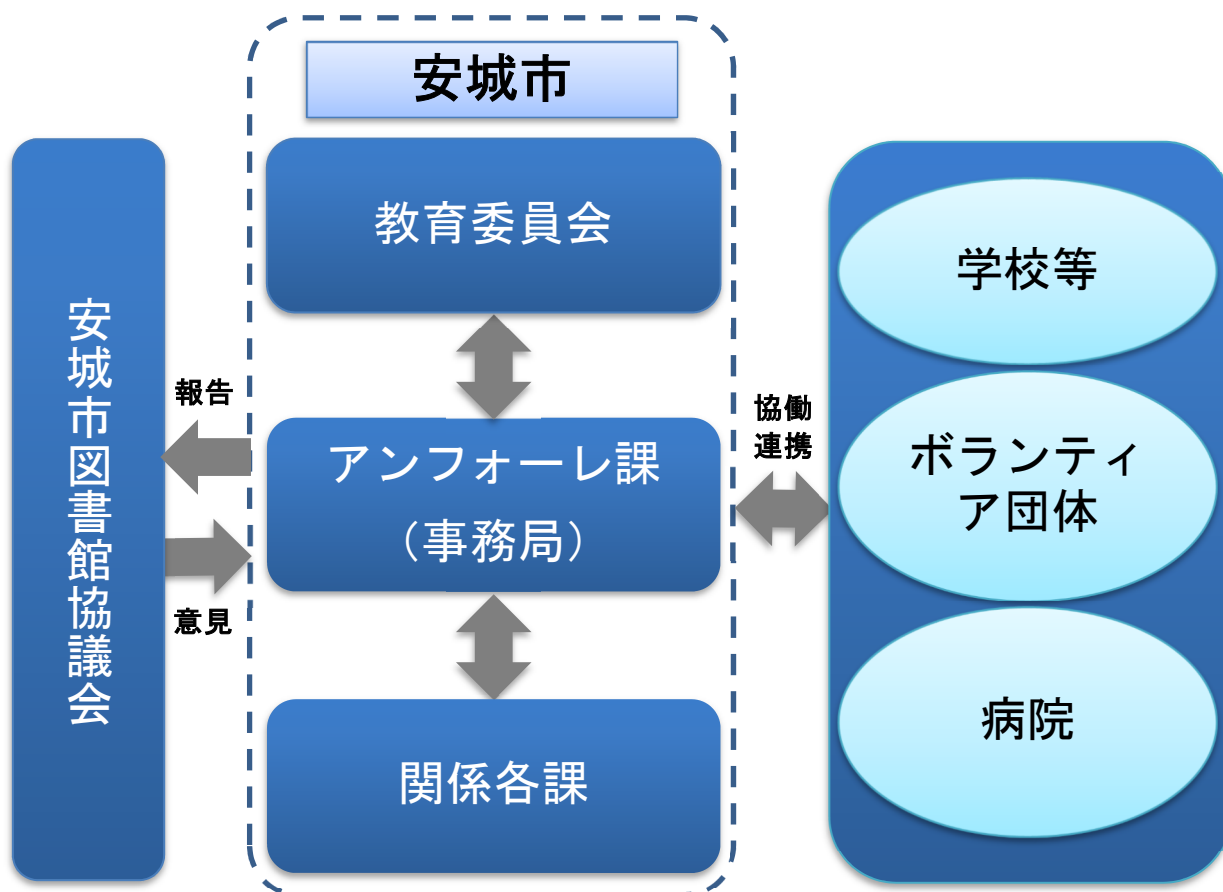


第4章 第4次推進計画の推進体制と進捗管理

1 計画の推進体制

計画を推進するためには、アンフォーレ課を中心に学校やボランティア団体など様々な関係団体との協働や連携を進めていく必要があります。



2 計画の進捗管理

社会教育・家庭教育・学校教育の各関係者、学識経験者、公募による市民等で組織する「安城市図書館協議会」^{※22}に、今後も本計画の進捗状況を報告し、必要に応じて意見を求めるなど、子供の読書活動を総合的に推進していきます。




参考資料

1 計画策定までの経緯

年月日	内容
令和2年7月16日	第1回 第4次安城市子供読書活動推進計画作業部会 ・計画の概要について
令和2年8月7日	令和2年度第1回 安城市図書館協議会 ・計画の概要について
令和2年8月26日	第2回 第4次安城市子供読書活動推進計画作業部会 ・計画の基本理念、目標指標案について
令和2年9月23日	第3回 第4次安城市子供読書活動推進計画作業部会 ・計画の本編、概要版案について
令和2年11月6日	令和2年度第2回 安城市図書館協議会 ・パブリックコメント計画案について
令和2年11月19日	令和2年度第9回 教育委員会定例会 ・パブリックコメント計画案について
令和2年12月10日	市民文教部会 ・パブリックコメント計画案について
令和2年12月24日 ～令和3年1月24日	パブリックコメント実施
令和3年2月18日	令和2年度第12回 教育委員会定例会 ・パブリックコメントの結果報告について
令和3年3月15日	令和2年第3回 安城市図書館協議会 ・パブリックコメントの結果報告について
令和3年4月1日	第4次安城市子供読書活動推進計画公表

2 SDGsと第4次推進計画

第4次推進計画では、SDGsの目指す17の目標のうち「4 質の高い教育をみんなに」「10 人や国の不平等をなくそう」「17 パートナーシップで目標を達成しよう」の3つの目標と関係づけています。

	質の高い教育をみんなに	基本方針1 家庭、図書館、学校等における読書活動の推進 基本方針2 読書環境の整備、関係機関等との連携・協力体制の整備 基本方針3 読書活動を支える人材の育成
	人や国の不平等をなくそう	基本方針1 家庭、図書館、学校等における読書活動の推進 基本方針2 読書環境の整備、関係機関等との連携・協力体制の整備
	パートナーシップで目標を達成しよう	基本方針2 読書環境の整備、関係機関等との連携・協力体制の整備 基本方針3 読書活動を支える人材の育成

3 第3次安城市子ども読書活動推進計画【進捗状況(令和元年度末現在)】

目標値

指標名①	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0歳～6歳児の図書館利用者カード保有率	33.2%	38.1%	46.9%	53.0%	58.4%	50.0%
指標名②	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地区公民館・児童センターでの「おはなし会」の参加人数	2,761人	3,140人	2,744人	3,322人	2,490人	4,200人
指標名③	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
図書館での「おはなし会」の参加人数	3,483人	2,827人	4,612人	5,131人	4,914人	3,700人
指標名④	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
本や図書館に興味を持てる事業数	8事業	6事業	8事業	8事業	7事業	9事業
指標名⑤	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
レファレンスサービスの件数	1,205件	1,173件	2,522件	4,403件	4,944件	1,600件
指標名⑥	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「朝の読書」の実施	25/29小中学校 で週3回以上	27/29小中学校 で週3回以上	28/29小中学校 で週3回以上	26/29小中学校 で週3回以上	26/29小中学校 で週3回以上	全小中学校 で週3回以上
指標名⑦	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保育園・幼稚園での「出前おはなし会」の開催回数	510回	505回	298回	304回	295回	550回
指標名⑧	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「南吉出前授業」の開催回数	7回	5回	0回	1回	8回	8回
指標名⑨	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
電子絵本・電子図書の導入	検討	検討	導入	導入	導入	導入
指標名⑩	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
児童書の蔵書数	218,436冊	220,973冊	232,876冊	242,487冊	249,464冊	238,000冊
児童書の貸出冊数	708,895冊	637,556冊	693,801冊	734,318冊	733,453冊	720,000冊
指標名⑪	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
外国語の絵本・児童書の蔵書数	1,264冊	1,341冊	1,879冊	2,123冊	2,292冊	2,000冊
外国語の絵本・児童書の貸出冊数	956冊	979冊	3,041冊	3,342冊	3,056冊	1,300冊
指標名⑫	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ティーンズコーナー(らBooks)の蔵書数	2,420冊	移転作業 のため 集計不可	17,720冊	19,584冊	20,586冊	20,000冊
ティーンズコーナー(らBooks)の貸出冊数	13,138冊		133,257冊	153,300冊	148,586冊	60,000冊
指標名⑬	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
児童書の蔵書数(公民館図書室等)	79,734冊	83,839冊	80,632冊	85,805冊	87,418冊	82,000冊
児童書の貸出冊数(公民館図書室等)	331,717冊	340,211冊	340,698冊	318,966冊	321,463冊	336,000冊

目標値

指標名⑭	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学校図書館の「図書標準」達成校	小学校21/21校 中学校7/8校	小学校20/21校 中学校8/8校	小学校20/21校 中学校8/8校	全小中学校	全小中学校	全小中学校

指標名⑮	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小学校への団体貸出利用冊数	33,447冊	25,649冊	107,732冊	102,186冊	114,708冊	50,000冊
中学校への団体貸出利用冊数	497冊	558冊	19,126冊	18,682冊	20,210冊	1,000冊

指標名⑯	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
関係機関との連携による事業数	12事業	13事業	17事業	14事業	15事業	12事業

指標名⑰	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
図書館に登録されている読書グループ・読み聞かせボランティアグループの会員数	330人	325人	252人	244人	234人	370人

指標名⑱	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保護者向け講座の開催回数	3回	3回	0回	15回	22回	48回

指標名⑲	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学校司書の配置	8名 (中学校区に1名)	21名	24名	25名	27名	29名 (全小中学校に専任1名)

指標名⑳	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ボランティア養成・支援講座の開催回数	11回	15回	7回	22回	18回	29回

目標値達成

4 用語解説

1 らBooks

図書館初心者や中学生・高校生の読書支援のための資料を選定し、その資料群を「らBooks」と呼んでいる。安城独自のジャンルで、現在、「ヤングアダルト（中学生・高校生向け）」「キャリア（進路）」「話題の書・入門書」「英文多読」「再読（歴代ベストセラー）」「コミックス」の6つのジャンルがある。

「らBooks」の「ら」には以下の意味がある。

「Light（軽い、明るい、入門的な）Books」

手に取りやすい、読書への誘いとなる資料

「Like Books」

本を好きになってほしい、という図書館からのメッセージ

「Love Books」

本を愛し、人生を豊かに生きてほしい、という図書館からのメッセージ

2 児童書

赤ちゃんから中学生くらいまでの読書興味や読書レベルにあった図書。初めから児童向けに創作されたもののほか、古典や名作文学を児童向けに改作したもの、その一部を抽出したもの、用語・用字のみを平易にしたものなども含まれる。絵本、昔話、幼年文学、児童文学、伝記、科学の本、実用書、レファレンスブックなどに分けることができる。

本計画の統計では、これに紙芝居を合算した数字を用いる。

3 学校司書

学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員をいう。「学校図書館法」（平成27年改正）では、学校は学校司書を置くよう努めなければならないとされている。

4 図書館教育アドバイザー

学校図書館の連携や図書情報館と学校図書館との連携のため、学校教育課から派遣されている社会教育指導員。学校司書の研修や連絡調整、貸出のための本の選定も行っている。

5 読書通帳

子供の読書推進のため、貸出記録が印字できる通帳。図書情報館2階に読書通帳機2台を設置しており、画面操作すると、書名と価格が印字される。市内の中学生以下には無料で配布しているが、一般の希望者にも1冊300円で販売している。
(一通帳に216冊分印字可能)

6 電子書籍

印刷して図書の形で出版されていた著作物を、電子メディアを用いて出版したもの。電子書籍専用端末、コンピュータ、スマートフォンやタブレット型端末などの携帯端末を用いて閲覧する。電子書籍ならではの機能として、文字の拡大・縮小、音声読み上げやメモ機能が付いたものもある。障害をお持ちの方や来館できない利用者にとっては便利なものである。本市では市内在住者に限定し、一人3点まで2週間の貸出サービスをしている。期限が来れば自動返却となる。

7 デジタル絵本

図書情報館2階の貸出用iPadで閲覧できるナレーション・動画付きの絵本。館内視聴のみのサービス。現在「かちかちやま」「にんぎょひめ」などの20作品がある。

8 からくりBooks

安城の民話や偉人などを題材とした電子紙芝居。ナレーションとアニメでわかりやすく学べるだけでなく、タッチして動作するタブレットならではの「仕掛け」を楽しめる。「都築弥厚物語」「新美南吉物語」「山崎延吉物語」「松平清康物語」「石川丈山物語」「岡田菊次郎物語」の6コンテンツを所蔵している。

9 フロアワーク

カウンター（サービスデスク）以外のサービスフロアで行われる、利用案内、読書案内、レファレンスサービス、読み聞かせ、ブックトーク、その他の利用者サービスの総称。職員的人的援助を受けられることを知らない利用者に対して有効である。

1 0 レファレンスサービス

利用者が資料や情報を探したり、調べたりするのを手伝うサービスのこと。図書館資料を用いた情報提供や、情報の有る所のアドバイスなどがある。

1 1 ^{うちどく}家読

家読は、「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味し、「家族みんな
で読書をすることで家族のコミュニケーションを深める」ことを目的にした読書
運動。

1 2 安城版ブックスタート

子供の読書推進と子育て支援を目的に、平成25年8月から保健センターの4か月
児健診終了後に実施している。平成30年に発行した第2回新美南吉絵本大賞の大
賞作品『かにのしょうばい』と赤ちゃん向け絵本1冊（平成30年度から令和2年度
までは『あそび』『だるまさんが』『どうぶつのおかあさん』『のせてのせて』
から選ぶ）、南吉バッグを対象市民の保護者一人一人に、主旨説明、読み聞かせ
の実演とともに配付している。南吉の説明と南吉絵本を配付しているため、「安
城版」と呼んでいる。

1 3 排架

図書館資料を、その請求番号などの所定の排列順序に基づいて、書架に並べる
こと。資料が正当な位置に排架されることにより、その資料が利用可能となる。

「配架」と「排架」の違いについては、「配」は割り当てるという意味があり、
「排」は一定の順序で連ねるという意味を持つ。図書館資料は分類順に一定の法
則で並べることから「排架」を用いている。

1 4 図書標準

文部科学省により、公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準
として、平成5年に定められたもので、各小中学校の学級数に応じて蔵書冊数が
算定される。

1.5 指定管理者

地方公共団体が設置する文化施設などの公の施設の管理、運営を行う株式会社やNPOを含む民間事業者のこと。指定管理者の指定は自治体の長が条例で定め、許可を与える。

1.6 パスファインダー

特定のテーマについて、調べる時に役立つ基本的な資料・情報源及び情報の探し方・調べ方を紹介した簡易的な手引き

1.7 ふれあい学級

安城市における適応指導教室。不安や悩みがあり、学校に行けない状態あるいはその傾向のある子供が、自立心や集団適応力を高め、学校復帰や社会的自立を目指す学級。

1.8 朝の読書

学校において毎朝始業前の10分程度の時間を利用して、全校の児童生徒と教師が一斉に自分の好きな本を読むという読書推進活動。各教科の授業時の集中力の向上や、子供の情緒の安定などさまざまな教育的効果も報告されている。

1.9 政策支援サービス

市議会議員や市職員等の政策立案・決定や行政事務に必要な情報収集を支援するサービス。

また、行政課題解決のためのレファレンス機能を強化するとともに、安城市役所関係各課で必要とされる資料のリクエスト制度を導入し、各課の持つ専門知識を図書館の選書に役立てている。

2.0 書誌データ

資料そのものから得られる、著者、タイトル、出版に関する事項、形態に関する事項、その他の事項から構成される1点ごとの資料を識別するためのデータ。

2 1 ストーリーテリング

語り手が本も何も持たずに、ことばだけでお話を語ること。「素話」とも言われる。

昔話や創作童話が多く語られ、耳からの読書として、図書館における児童サービスのひとつである。

2 2 安城市図書館協議会

図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関。図書館法第14条に基づいて設置され、本市では条例で「委員の定数は10人以内」と規定し、年3回開催している。

〈参考文献〉

- 1 安城市アンフォーレ課 Guide Book—中高生編— p 2
- 2 安城市アンフォーレ課 平成 30 年度図書館概要 p 65
- 3 安城市アンフォーレ課 令和 2 年度図書館概要 p 23
- 4 安城市市民生活部アンフォーレ課 安城市図書館運営基本計画【2020 年度～2029 年度】
- 5 安城市市民生活部アンフォーレ課 p23
- 6 日本図書館協会編 図書館用語集 四訂版 日本図書館協会 p253
- 7 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会 図書館情報学用語辞典 第四版
p3, 36, 94, 96, 116, 164, 196, 199, 219, 255
- 8 安城市アンフォーレ課. “安城市図書館協議会” 安城市図書館情報館. 2020-09-03
http://www.library.city.anjo.aichi.jp/plan_report/plan/toshokankyogikai/index.html
(参照 2020-09-28)
- 9 安城市アンフォーレ課 “カラクリ BOOKS” 安城市図書館情報館 2020-08-19
http://www.library.city.anjo.aichi.jp/book/shiryo/kyodo/karakuri_books2.html
(参照 2020-09-28)
- 1 0 安城市アンフォーレ課 “デジタルえほん” 安城市図書館情報館 2017-10-26
<https://www.library.city.anjo.aichi.jp/book/degital-ehon.html>
(参照 2020-09-28)
- 1 1 安城市アンフォーレ課 “図書館情報館の施設案内” 安城市図書館情報館 2020-02-22
<http://www.library.city.anjo.aichi.jp/annai/shisetsu/index.html>
(参照 2020-09-28).
- 1 2 飯塚市立図書館 “家読” <http://www.iizuka-library.jp/utidoku/utidoku.html>
(参照 2020-09-28)
- 1 3 教育振興部学校教育課研究係 “安城市適応指導教室”
<https://www.city.anjo.aichi.jp/manabu/gakko/documents/hureai-leaflet.pdf>
(参照 2020-09-28)
- 1 4 文部科学省 “学校図書館”
https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/hourei/cont_001/016.htm
(参照 2020-09-28)

第4次安城市子供読書活動推進計画

(計画の期間：令和3年度～令和7年度)

発行 愛知県安城市

編集 安城市市民生活部アンフォーレ課

〒446-0032 安城市御幸本町 504 番地 1

TEL0566-76-6111 FAX0566-77-6066

電子メール: tosyo@city.anjo.lg.jp

URL: <https://www.library.city.anjo.aichi.jp/>
